



大原小だより NO19

良作市立大原小学校 令和6. 3. 13 (水)

発行文責 校長 金島久美子

《学校教育目標》

自らの考えをつくり、協働しながら
活動し社会に貢献する児童の育成



育てたい心・主体・協働・挑戦

1 6年生卒業おめでとう 「主体」「協働」「挑戦」の心を教えてくれてありがとう。

6年生を送る会

3月1日(金)5年生が中心となって企画し、全員で協力して実施しました。
各学年が工夫して、6年生に今までの感謝の思いを、心を込めて伝えました。



協働

他行力



6年生の合言葉

「Don't
Worry
Be Happy」

苦しいときも、楽
しいときも
一人の児童の
かけ声で、支え
合った6年生。

最高の瞬間!

2 こんな勉強が、学力向上には効果的です。大原小の「秘策」

2月には、岡山大学大学院の先生方が何度か大原小学校に来られ、授業を見ていただきました。そのなかで、ご指導いただいたことをご紹介します。ご家庭の学習でも取り組んでみてください。ご心配なく。大原小学校の取組はとっても評価されました。学力向上にはとても有効なのです。

秘策1「アウトプット」

自分で「問い」をつくり、課題解決しようと、その場に行って、その人に尋ね、スライドにまとめ、アウトプット(伝える)すること。

- ① ★「誰に向かって伝えたいの？」
- ② ★「何のために伝えるの？」
- ③ ★「自分はどう行動するの？」

秘策2「考える過程を言語化(文字化)」

例えばテストなどで、

- ① なぜ、まちがってしまったのか？それを言葉にしてみる。(言えたら、文章に表す)
- ② 次に、「どうやったら、正しい解き方になるのか、それを言葉にしてみる。(言えたら、文章に表す)」

正しい答えに書き直すことではないのです。

「思考の過程」を言葉にすることがとっても大事なのです。低学年など、すぐに文章化することが難しい場合は、一緒に話してみてください。

秘策3「みんなでよいものをつくる」(協働)

「私はこう思うな」「〇〇があったら、もっとわかりやすいな」→修正ポイント

「Before→ → → After」

お子様が、探究的な学習をスライドで作成したとき、上記のような言葉かけをしてみてください。

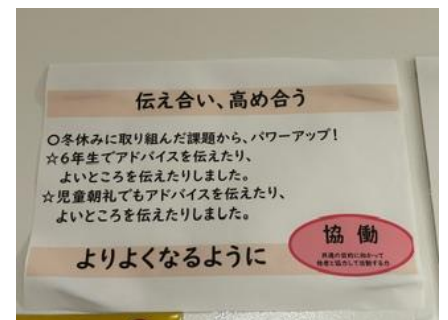
他の人の意見を聞いて、受け入れ、多面的に考え、修正できる力が育っていきます。

大原小で3学期重点的に取り組んだことの一つです。

「Before→→→ After」の過程が見えたら、自分でそのことがわかり、さらに成長できます。

難しい言葉で、「メタ認知」と言います。

玄関ホールの掲示



3 祝「第13回山陽新聞桃太郎賞受賞」4年生「大原祭り伝承チーム」

3月10日(日)山陽新聞社さん太ホールにて、授賞式。

このたびの受賞を喜んでくださる地域の方が貸して下さった祭りのはっぴ、はちまきをつけ、紙垂(しで)を持った4人の児童が、「祭りへの参加、これからの祭りのあり方の提案」などを発表しました。当日は、約20人の児童、保護者計50人が参加し、フロアから発表を応援しました。

子供達自身が地域から学び、地域のために考え、学校での学びを地域に活かそうと行動してきたことにより、300人の観客を前に、堂々と誇りを持って発表することができました。

翌日の朝刊と31日に「桃太郎賞特集号」が組まれます。お楽しみに。

